BEST AVAILABLE COPY

Reference No.7

Utility Model

Public Laid-open Disclosure No.: 61-30410

Public Laid-open Disclosure Date: February 24, 1986

Title of Invention: Container for Lipsticks with Connectable Containers

Applicant: Hitomi Hanada

Abstract:

The present invention is directed to a container for lipsticks having containers which can be connected to each other by insertion.

Explanation of Reference Numerals

- A lipstick containers which are connected to each other
- d lipstick container body
- e another lipstick container
- 1 cap
- 2 tube
- 3 guide tube
- 4. threaded groove ...
- 5 guide tube
- 6 axially extended grooves
- 7 seat
- 8 inner plate
- 9 stick
- 10 connecting space
- 11 outer wall of connecting space
- 12 breezer
- 13 lipstick

19 日本国特許庁(JP)

①実用新案出額公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭61-30410

@Int_Cl_4

識別記号

厅内整理番号

❸公開 昭和61年(1986)2月24日

A 45 D 40/24 B 65 D 21/02

6671-3B 6564-3E

審査請求 有 (全1頁)

❷考案の名称

容器と容器が嵌插接合できる口紅容器

②実 願 昭59-115606

20出 · 題 昭59(1984)7月28日

⑰考 案 者 花 田

日登美

岡山市清心町1の8番

⑪出 顧 人 花 田

日登美

岡山市清心町1の8番

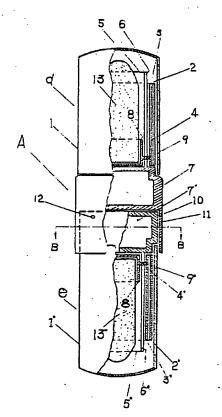
砂実用新案登録請求の範囲

口紅容器の本体dの座台7に施した外壁1により形成設けられた嵌挿接合室10を設けて別の口紅容器等を嵌挿接合が出来る口紅容器。

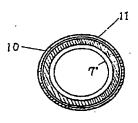
図面の簡単な説明

第1図は本案の要部構造を示す一部截断正面図。第2図は第1図B-B線に沿う平面図。

図面の主要な部分を表わす符号の説明、A…接合された口紅容器、d…本体の口紅容器、e…別の口紅容器、1…蓋、2…把持筒、3…案内筒、4…螺旋構、5…案内筒、6…縦構、7…座台、8…中皿、9…突棒、10…接合室、11…接合室外壁、12…空気出入口、13…紅。



第· 1 図



第 2 図

⑩日本国特許庁(JP)

⑪実用新案出願公開

母 公開実用新案公報(U)

昭61-30410

@Int_Cl_4

識別記号

庁内整理番号

❸公開 昭和61年(1986)2月24日

A 45 D 40/24 B 65 D 21/02

6671-3B 6564-3E

審査請求 有

(全 頁)

❷考案の名称

容器と容器が嵌插接合できる口紅容器

②実 顧 昭59-115606

愛出 顧 昭59(1984)7月28日

砂考 案 者 花 田

日登美

岡山市清心町1の8番

⑩出 顋 人 花 田 日 登 美 岡山市清心町1の8番

明 細 書

- 考案の名献
 容器と容器が嵌挿接合できる口紅容器
- 2. 実用新来登録請求の範囲

口紅容器の本体dの座台7に施した外壁1により形成設けられた嵌神接合室10を設けて別の口紅容器等を嵌棒接合が出来る口紅容器

3. 考案の詳細な説明

本考案は口紅容器における本体に別の口紅容器を嵌挿接合する手段に関するものでめる。

状未口紅化粧をする際、色建いの口紅、艶出しの口紅、保護の口紅等数種類の口紅が必要とされて、化粧順位に従い口紅化粧をする時順次取り出す手数と、求める口紅を捜す手数がかより特に携帯には数の多いことは不便であった。

本考案は簡單な手段によって、上記の不便を解 消することを目的とする。

本考察の口紅容器を図面にもとづいて詳細に説明すると、口紅容器体Aはオラスチック又はアル

(1)

ミニューム等の軽金属を以て形成されたもので、 図中口紅容器体Aは本体の口紅容器dと別の口紅 容器日の二者が嵌挿接合されたものである。 Qは 本体となる口紅容器で、日は嵌棒接合された別の 口紅容器である。次に口紅容器の内部構成につい て説明する。①紅容器日におけるダシュ符号の内 部構成部は本体口紅容器dと 同一の構成によるも のであるから以降各ダシュ符号の説明を省略する 1は口紅容器の蓋。2は螺旋溝4を有する案内筒 3を固着した把持筒。5は座台7と固着すると共 に側部に終溝6を設けた案内筒で、8は前記能溝 6及び螺施溝4を貫通契棒9を固着した紅13を取 付た中皿である。次に紅13の架内筒5ょり出没作 動状態を説明すると、先ず蓋1を撤去の後d及び Eの□紅容器の任意の1部分を片手に把持して、 - 方の片手に把持筒2を持って廻動すれば、案内 筒3に設けた螺旋溝4が廻動することによって固 定案内筒の쌵溝6に実棒9を上下せしめ中皿8に 取付られた紅呂を筒内より出没せしめるもので、 前記座台7の下部に該座台7と同体の外壁11に設



けた12は別の口紅容器已の挿入拔取を容易にする ための空氣出入口心であり本体の口紅容器 d に嵌 挿接合室10を設けたことを特徴とする口紅容器で ある。

尚口紅容器 dの紅13が出没する際座台7は制止されて回転しないので口紅容器 Cの紅13は出没をしない

4. 図面の簡單な説明

第1図は本実の要部構造を示す-部截断正面図。

第2回は第1回B―B線に沿う平面図。

図面の主要な部分を表わけ符号の説明

A・・・接合された□紅容器 d・・・本体

の口紅容器

e・・・別の口紅容器

1 · · · 蓝

2・・・ 把持筒

3。。・ 案内筒

4・・・ 螺旋溝

5・・・ 案内筒 6・・・ 終溝

7・・・ 座 台

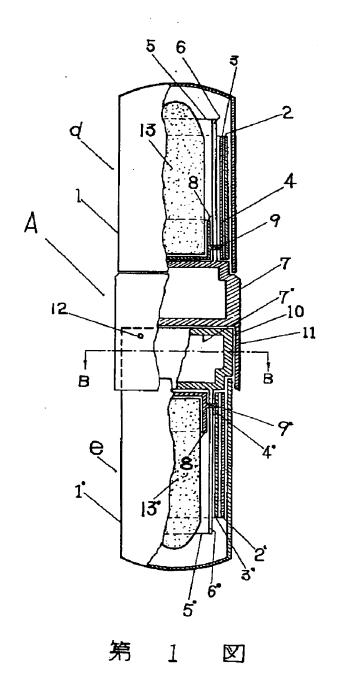
8 • • • 中血

9・・・ 突捧 10・・・ 接合室

11・・・接合室外壁 12・・・空氣出入口

13. . . 紅

実用新案登錄出願人 花 田 日 登 美

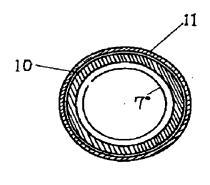




実 用 新 案 出 顧 人

花田日登美 93

地間61-20410



第 2 図

実用新案出願人 花田日登美 ()4

· 数型 4.65 有

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

□ BLACK BORDERS
□ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
□ FADED TEXT OR DRAWING
□ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
□ SKEWED/SLANTED IMAGES
□ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
□ GRAY SCALE DOCUMENTS
□ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
□ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

☐ OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.